

全県版

恐竜学博物館知って

岡山理科大の八十さん、中原さん

ちらし、ポストカード作る

岡山理科大生物地球学部4年の八十麻里亜さん(22)と中原多聞さん(22)が、学内にある「恐竜学博物館」(岡山市北区理大町)のちらしやポストカードなどPRグッズを作った。



恐竜学博物館のちらしやポストカードを作った岡山理科大の八十さん(左)と中原さん

掘した化石や研究成果を紹介するため2018年3月に開設。世界的に珍しいプロトケラトプスの幼体やアジア最大の肉食恐竜タルボサウルスの実物大骨格レプリカなど標本約50点を展示している。

ちらし(A4判)は子ども向けのデザインで、表は緑や水色など明るい色の背景に、迫力あるタルボサウルスの頭骨などをあしらった。裏は各展示室を写真で紹介。ポストカードは主に大人向けで、もやがかかったような森の中で空に向かってほえる肉食恐竜アロサウルスの化石を描いた。

恐竜カード(縦6センチ、横9センチ)は、表に恐竜

豊かな暮らしを実現する健康快適住宅

Hashimoto HOMES
TIMELESS MODERN



の化石、裏にその恐竜の特徴などを記しており、2カ月ごとにカードの恐竜を変える。現在、草食恐竜プロトケラトプスなど3種類計1500枚を作製している。

2人は幼い頃から恐竜が好きで全国各地の博物館を巡り、同大の生物地球学部にも恐竜を学ぶため入学した。PRグッズの作製は学内の博物館の魅力を伝えようと昨夏取り組み、ちらしは1万枚、ポストカードは3万枚印刷して、県内の博物館や公民館に配った。

2人は「恐竜学博物館は大学の中にあっても立ちにくいけれど、誰もが恐竜について楽しく学べる貴重な場なので多くの人に来てほしい」と話している。

(山本恭子)

こよみ

1月11日
(旧12月17日)

日 出 7:12
日 入 17:12
月 出 17:41